

= 導入パート = ( 前回から微修正 )

お帰りなさい

お仕事お疲れ様です

疲れてる？

嫌な事でもあった？

職場の中だとか、電車の中、道端

疲れる事いっぱいあるよね

でも...

今はベッドの上にいるんだから

リラックスして良いと思うよ

普段頑張ってる分、休まなきゃね

そんなに硬くならないで

ほら、リラックス...リラックス...

楽な呼吸をする

<呼吸音フェードイン>

自然な呼吸

寝息を立てるみたいに、小さな呼吸を繰り返す

あったかい布団に入って、今から寝る所

体中の力が抜ける

布団の感触に包まれる

瞼を閉じる

布団の感触

あったかい...

心地良い...

眠たい...眠たいね...

でも...まだダメだよ？

眠っちゃダメ

ちゃんと私の話を聞いて

ボーッととしてていいから...ね？

<呼吸音フェードアウト>

眠たいまま、少し頭の体操をしましょう

大丈夫、簡単な遊びだから

『積み木遊び』ってした事ある？

子供の頃なんかによく遊んだかな

四角い木を積み上げて、色んな物を作るの

建物とか、怪獣とか

懐かしいね...

あれを...やってみよっか

頭の中で積み木遊びをするんだよ

じゃあ、私の言う通りに想像してみて

積み木をイメージ

四角い立方体

綺麗な木目

その積み木を手にとって

握る

軽い

積み木の角が手の平に当たる

チクツとする

それをゆっくりと置いて

<木を打ち付ける音>

もう一個

積み木を手にとって

上に置く

< 木を打ち付ける音 >

もう一個  
積み木を手にとって  
上に置く  
< 木を打ち付ける音 >

できた？  
もう一度、一緒にやってみようか

もう一度イメージ  
四角い立方体  
それを手にとって  
軽く握る  
角が手の平に当たる  
またチクツとする  
上に置く  
< 木を打ち付ける音 >

もう一個  
積み木を手にとって  
上に置く  
< 木を打ち付ける音 >

もう一個  
積み木を手にとって  
上に置く  
< 木を打ち付ける音 >

上手に積めた？  
じゃあ、少しだけ時間をあげるから、今度はたくさん積んでみて  
高い塔みたいに積み上げる  
じゃあ、いくよ...

3  
2  
1  
スタート

< 木を打ち付けるを音リピート開始 >  
頭の中で積み木をするイメージ

積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む

数を重ねる毎に、あなたのイメージする積み木が高くなっていく

積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む

どんどんどんどん...どんどんどんどん...

積み木を握る

上に積む  
積み木を握る  
上に積む

頭の中から突き出そうなくらい、たくさん積み上げる

積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む

まだまだ...まだたくさん積めるよね？

積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む

少しグラグラする...でもまだ大丈夫...

積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む

崩れそうで怖い...でもたくさん積まなきゃ

積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む

あと、もうちょっと...もうちょっと...

積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む  
積み木を握る  
上に積む

< 台詞は繰り返しながらフェードアウト >  
< 木を打ち付けるを音リピート終了 >

はい、終わり  
いくつ積めた？  
上手に積めたかな？  
それじゃあ、積んだばかりの積み木を思い浮かべて  
体はもう一度リラックス

また呼吸をしましょう  
今度はじっくりと深呼吸  
< 深い呼吸音フェードイン >

鼻からゆっくり吸って...  
口からゆっくり吐く...

この声を聞きながら、ただ呼吸を繰り返す

吸って...  
吐いて...

何も考えないで、ただ呼吸を繰り返す

吸って...  
吐いて...

いっぱい空気が溜まって、体が膨らむ  
空気が全部抜けて、体が萎む

吸って...  
吐いて...

息を吸うと、取り込んだ酸素が体中に行き渡る  
息を吐くと、全身の力が抜けていく

吸って...  
吐いて...

息を吸うと、酸素を得た脳がリラックスしていく  
息を吐くと、脱力した体がリラックスしていく

吸って...  
吐いて...

息を吸うと、脳が気持ち良い  
息を吐くと、体が気持ち良い

吸って...  
吐いて...

気持ち良い  
気持ち良い

あったかい布団でどんどん眠たくなってくる  
体中の力が抜ける  
布団の感触に包まれる  
意識が遠のく  
布団の感触  
あったかい...  
心地良い...  
眠たい...眠たいね...  
でも...まだダメだよ？  
眠っちゃダメ  
ちゃんと私の話を聞いて  
ボーッとしてていいから...ね？  
<深い呼吸音フェードアウト>

眠たいまま、私の声を聞いて  
積み木遊び、忘れてないよね？  
さっきあなたが積んだ積み木

ほら、イメージ

高い積み木の塔  
たくさん積んだから不安定  
天辺が揺れてる

ゆらーり  
ゆらーり

触ってないのに...崩れそう

ゆらーり  
ゆらーり

これはあなたの意識  
この積み木はあなたの意識

ゆらーり  
ゆらーり

だって...ほら、今のあなたは凄く眠たいよね  
頭がボーッとして不安定だよ

ゆらーり  
ゆらーり

頭が揺れる

ゆらーり  
ゆらーり

意識が揺れる

ゆらーり  
ゆらーり

眠たい...  
凄く眠たい...

ゆらーり  
ゆらーり

崩れそう  
意識が崩れそう

ゆらーり  
ゆらーり

意識が遠のく...どんどん遠のく...

ゆらーり  
ゆらーり

< 台詞は繰り返しながらフェードアウト >

今から3つ数えます  
数え終わると同時に私がフッ、とあなたの積み木に息を吹きかけます  
すると、あなたの意識はゆっくり倒れて、バラバラになってしまう

あなたの意識がバラバラになって...深い深い眠りに入ってしまう  
せっかく積み重ねたものが無くなってしまう

分かった？

それじゃあ、いくよ？

3

2

1

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

崩れてしまった

あなたの積み木

あなたの意識

バラバラになって地面に散らばる

少しだけ時間をあげるから、崩れた意識を積み直しましょう

また高い塔みたいに積み上げて

じゃあ、いくよ...

3

2

1

スタート

<木を打ち付けるを音リピート開始>

頭の中で積み木をするイメージ

積み木を握る

上に積む

積み木を握る

上に積む

数を重ねる毎に、あなたの意識が戻ってくる

積み木を握る

上に積む

積み木を握る

上に積む

どんどんどんどん...どんどんどんどん...意識がハッキリしてくる

積み木を握る

上に積む

積み木を握る

上に積む

積み木を握る

上に積む

積み木を握る

上に積む

積み木を握る

上に積む

<台詞は繰り返しながらフェードアウト>

<木を打ち付けるを音終了>

はい、終わり

ちゃんと積めた？

もう一度私がフッ、とあなたの積み木に息を吹きかける

すると、あなたの意識は更に倒れて、バラバラになってしまう  
あなたの意識がバラバラになってもーっと深い眠りに入ってしまう

3

2

1

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

また崩れてしまった  
あなたの積み木  
あなたの意識  
バラバラになって地面に散らばる  
散らばった意識がとろけて消える...  
消える...  
消える...

今度は長めに時間をあげるね  
私が途中で息を吹きかけて崩しちゃうけど、積むのはやめちゃ駄目だからね  
ふふっ(嘲笑気味に)  
じゃあ、いくよ...

3

2

1

スタート

<木を打ち付けるを音リピート開始>  
<積み木が崩れる音リピート開始(かなり小さめ)>(5秒間隔ぐらい)  
<息を吹く音リピート開始>(5秒間隔ぐらい)

ああ、なんでだろう  
なんでこんなに楽しいんだろう  
人が積み上げたものを壊すのって...凄く楽しい  
倒すのが楽しい  
崩すのが楽しい  
落とすのが楽しい  
積んでも積んでも崩される  
すぐ落ちてバラバラになる  
<息を吹く音終了>

あなたは一生懸命積み木を積む...  
でも、無駄  
積むのは大変なのに、崩すのは簡単だから  
こうやって息を吹き掛けるだけ...

<息を吹く音>

ほら、また崩れる  
あなたの意識が崩れる

<息を吹く音>

息を吹きかける度に意識が遠のく  
深い眠りに落ちる

<息を吹く音>

どんどん、積む気力がなくなる  
積むのが疲れてくる

< 息を吹く音 >

積まなくなる  
積みなくなる

< 息を吹く音 >

崩れるだけ  
あとはもう崩れるだけ

< 息を吹く音 >

< 木を打ち付けるを音フェードアウト >  
< 積み木が崩れる音 (かなり小さめ) フェードアウト >

はい、終わり  
...どうせ崩れちゃうんだから、積んだって意味無いよね？  
もうあなたはずっと眠ったまま  
息を吹きかけるだけ、私の思い通りになる  
あなたの色んな積み木が私の吐息で崩れる  
今から私があるあなた体をたくさん崩してあげる  
口で言わなくても、男の子なら分かるよね？  
ふいっ (嘲笑気味に)

= エロパート = (途中まで)

意識は崩れて、もうどこにもない  
頭の中が空っぽだね  
心が丸裸だね  
だから、あなたの考える事は手に取るように解かるよ？  
...エッチな事考えてる  
さっきの私の言葉のせいで期待しちゃってるね  
...いいよ、エッチな事...してあげる  
だから、あなたはそのまま...眠る気持ち良さだけに身を任せていて

私の声を聞こうと思わなくても良い  
嫌でも耳に入るから  
嫌でも耳に入ってくると、嫌でも体が反応する  
だって、今のあなたの頭は空っぽだから  
私の言葉は簡単にあなたの頭の中に入っていき  
無くなった分は私の声で埋めてあげる  
私に積み木を崩されたら、私に支配されたのと同じ  
あなたはこれから体中を崩され、私のオモチャになる

まずは右手...  
積み木をイメージ  
積み上げられた積み木  
これはあなたの『右腕』  
私が息を吹きかけると、あなたの右腕は音を立てて崩れる  
ズーンと重くなって、全く動かさなくなる  
感覚が無くなって、自分の右腕ではなくなる  
いくよ？

3

2

1

< 息を吹く音 >

< 積み木が崩れる音 (かなり小さめ) >  
あなたの右手が崩れた  
重たい  
動かせない  
感覚がない  
ない  
ない  
あなたの右腕は私の物

次は左腕...  
積み木をイメージ  
積み上げられた積み木  
これはあなたの『左腕』  
私が息を吹きかけると、あなたの左腕は音を立てて崩れる  
ズーンと重くなって、全く動かせなくなる  
感覚が無くなって、自分の左腕ではなくなる  
3  
2  
1

< 息を吹く音 >  
< 積み木が崩れる音 (かなり小さめ) >  
あなたの左腕が崩れた  
重たい  
動かせない  
感覚がない  
ない  
ない  
崩れちゃったら...私のオモチャになるんだったよね？

今度は両脚  
積み木をイメージ  
積み上げられた積み木  
これはあなたの『両脚』  
私が息を吹きかけると、あなたの両脚は音を立てて崩れる  
3  
2  
1

< 息を吹く音 >  
< 積み木が崩れる音 (かなり小さめ) >  
あなたの両脚が崩れた  
重たい  
動かせない  
感覚がない  
ない  
ない  
どんどん私のオモチャになっていく...

仕上げは体全体を崩します  
体は腕や脚より大きい分、たくさん積み木が積まれてる  
でも、たくさんある分派手に崩れると思うの  
ズーンと体全体が重くなるよ  
地面にめり込むような感覚が来るよ  
積み木をイメージ  
積み上げられた積み木  
これはあなたの『体』  
私が息を吹きかけると、あなたの体は音を立てて崩れる  
3

2

1

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

あなたの体が崩れた

重たい

動かせない

感覚がない

ない

ない

全部私のオモチャになっちゃった...

体中バラバラだね...

もう直せないかも

でも、私のオモチャになれて幸せだね

体を崩されて気持ち良いね

もっともっと崩してあげる

今度はあなたの理性の崩します

プライド

恥ずかしさ

自制心

そうゆうオモチャに要らない物は私が取り除いてあげる...

私が息を吹きかけると、あなたの理性は音を立てて崩れる

そうしたら、気持ち良い事だけで頭がいっぱいになる

体中の神経が性感体になってしまう

いくよ?

3

2

1

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

あなたの理性が崩れた

呼吸が早くなる

心臓がドキドキしてくる

ドキドキ

ドキドキ

体中が敏感になる

ムラムラしてくる

犬みたいにはしたないぐらい発情して、あそこがどんどん膨れてくる

目の前に女の子が居たら、押し倒してしまうぐらい欲情してくる

ドキドキ

ドキドキ

でも、それは当たり前の事

どんな生き物でも、こんな欲望を持っている

ドキドキ

ドキドキ

息を吹きかけて、もう一度あなたの理性を崩します

私が息を吹きかけると、あなたの理性は音を立てて崩れる

積み木の崩れる音に反応して、自然と体が熱くなる

体中の神経が快感でいっぱいになる

いくよ？

3

2

1

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

また理性が崩れた

体中が痺れてくる

快感を感じる神経がピリピリしてくる

頭の天辺から、つま先まで...全身が痺れる

気持ち良い

全部気持ち良い

でも、まだまだ...

もっともっと崩せる

もっともっと気持ち良くなれる

3

2

1

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

何回でも崩れる

2

1

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

こんなに素直になれる

1

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

こんなに気持ち良くなれる

<息を吹く音>

<積み木が崩れる音(かなり小さめ)>

じゃあ、そろそろ...私もオモチャで遊ぼうかな  
オモチャはどこが感じるの？

乳首？

おちんちん？

それともお尻？

今から体中弄繰り回して調べてあげる

今のあなたは体中が性感体

どこを触られても嬉しい

何をされても気持ち良い

腕を変な方向に曲げられても

足を折られても

オモチャだから平気

ほら、こんな風に頭に指を突っ込まれても  
脳みそを直接撫で回されても...平気

スリスリ...

スリスリ...

気持ち良い

スリスリ...

スリスリ...

脳みそがどンドン蕩けてくる

蕩けた脳みそを私が指でかき混ぜる

グチュグチュ  
グチュグチュ  
気持ち良い  
グチュグチュ  
グチュグチュ

あなたは私に触られて幸せ  
あなたは私に犯されて気持ち良い  
あなたがそう感じれば感じる程、体は感度は上がっていく  
ほら、感度が上がる...  
上がる...  
次にされる事を期待して、どんどんエッチな気分になっていく  
次はどこにしようかなあ  
じゃあ、今度は胸  
ここの可愛い先っちょ...苛めてあげる

それじゃあ、乳首を意識して  
両方の乳首  
乳首  
乳首を意識  
体中にあるあなたの意識が胸に集まっていく  
頭の天辺から足先まで、かき集められた体中の意識が胸元に流れる  
でも、まだその意識はハッキリしない  
モワモワとした感覚  
モワモワ  
モワモワ  
これは快感の綿飴

もっと意識  
胸元に集めた意識が二つに千切れる  
右と...左  
分かれた意識が乳首に向かっていく  
乳首に近づくとつれ、小さく固まっていく  
体積が絞られ、代わりに密度が上がっていく  
意識はハッキリしてくる  
ギュッと固まる  
ギュッと  
ギュッと  
密度を上げながら、先端に迫っていく  
右と左に硬くて丸い物  
これは快感の飴玉

乳首に飴玉を作ってしまったあなたは、もうそれだけで気持ち良い  
舌の上に飴玉を乗せてるみたいに、何もしていないのに甘い快感が広がっていく  
まるで、胸で飴玉をしゃぶってるみたい  
甘い快樂の飴玉  
たっぷり味わってね

<深い呼吸音フェードイン>

鼻からゆっくり吸って...  
口からゆっくり吐く...

この声を聞きながら、ただ快樂を味わう

吸って...  
吐いて...

何もしてないのに、乳首が気持ち良い  
呼吸をする度に、甘い感覚が強くなってくる

吸って...  
吐いて...

乳首が痺れる  
甘い快感で蕩ける

吸って...  
吐いて...

< 深い呼吸音フェードアウト >

今から私があなたの右の乳首に息を吹きかけます  
すると、乳首に溜まっていた意識が風船みたいに弾けてしまう  
そうしたら快感が一気に広がって、体中が気持ち良くなる  
いくよ？

3

2

1

< 息を吹く音 >

...クスッ、ビクンッてなったね  
ここはあなたのスイッチなのかな？  
もう一回吹いてみよっと

2

1

< 息を吹く音 >

...今度は左

1

< 息を吹く音 >

今度は両方同時に感じて

< 息を吹く音 >

< 息を吹く音 >

< 息を吹く音 >

あはっ、面白い  
本当にオモチャみたい  
あれ？

...体を弄ばれて、悦んでるの？  
もう身も心もオモチャになっちゃったんだね...  
もう戻れないね...

あなたみたいなオモチャにはとっておきの事をしてあげる  
ちょっとだけあなたの体を改造するね

< 重い物を引き摺る音 >

はい、イメージ  
白い細い線を想像して  
白い線  
なんだか分かる？

これは電気の通り道  
それがあなたの頭と繋がってる

頭の感触が変な感じ？  
ううん、そんな事無い  
だって、オモチャはこれが普通なんだよ  
あなたはオモチャだもの  
オモチャのあなたにとっては当たり前

体が動かなくて変な感じ？  
ううん、そんな事無い  
だって、オモチャはスイッチを入れないと動かないよ  
あなたはオモチャだもの  
オモチャのあなたにとっては当たり前

自分がオモチャになるって変な感じ？  
ううん、そんな事無い  
だって、あなたの体はもう、エッチな快感を感じるためだけにあるの  
オモチャのあなたは、所有者である私を楽しませないといけない  
それがオモチャであるあなたの役目  
使命  
存在意義  
さあ、もっと私を楽しませて...  
あなたはオモチャだもの  
オモチャのあなたにとっては当たり前だよ

スイッチって...もう何の事なのか、言わなくても分かるよね？  
私とそのスイッチを入れると、体中の快感が頭に流れ込んでいきます  
脳みそがいやらしい感情で満たされ、あなたは脳みそからイッてしまう  
それは最高の充実感  
それは最高の快樂  
そして、究極の官能  
たっぷり味わって...

3

2

1

...

...

<息を吹く音>

体中が痺れる  
どんどん  
どんどん  
体に溜まった痺れが、ゆっくり頭に流れ込んでくる  
もう一度、スイッチオン

<息を吹く音>

頭に溜まった快感が渦を巻く  
グルグル  
グルグル  
内側から神経を撫でて、蕩けさせる  
もう一度、スイッチオン

<息を吹く音>

脳が快樂で震える

気持ち良い  
気持ち良い  
頭の全神経がこの快感を感じるためだけに集中する

スイッチオン

<息を吹く音>

スイッチオン

<息を吹く音>

スイッチオン

<息を吹く音>

(5秒ほど空白)

...どう?

気持ちよかった?

いっぱいイケた?

その甘い余韻に浸りながら、よく聞いて  
今から私があなたの頭で渦巻いてる快感を操作します  
私が持ってるスイッチを使えば自由自在  
あなたの体の中を好きなように行き来できる  
何をするかって?

あなたの頭でウズいてるこの快感  
これをね、体中に這い回られたら...どうなると思う?  
くすっ、またドキドキしてきた?  
じゃあ、さっそくやってみようか  
いくよ?

3

2

1

<息を吹く音>

グルグル  
グルグル

渦巻く快感が、ゆっくりと頭の中で加速し始める  
ゆっくり天辺から降りていく  
周りの神経を内側から刺激しながら  
快感の渦が体の中を通っていく  
まずは後頭部に到達  
そこから今度は...喉  
そのまま下に  
ゆっくりと落ちる  
ゆっくりと、ゆっくりと、周りを気持ち良くしながら

グルグル  
グルグル

胸に到達  
ここは...凄く気持ち良い場所だから、たっぷりとね  
胸全体を渦で揉み解す

グルグル

グルグル

気持ち良い  
胸を揉まれて気持ち良い

(書き途中)